安土まちづくりビジョン
学びのにわ構想（案）

Azuchi Vision for the Future

京都大学大学院 景観設計学分野

2024

安土まちづくりビジョン
学びのにわ 構想（案）

京都大学大学院　景観設計学分野

2024 年 10 月

「安土未来づくり」プロジェクト　これまでの経緯

「安土未来づくり」プロジェクトは、2026 年に迎える安土城築城 450 年や、西の湖などの水辺の活用、県道バイパス整備などを見据え、安土の様々な地域資源を活用した地域の活性化や、地域活動の持続・発展の可能性を検討するために、安土町の特色を活かした地域づくりを推進してきました。その経緯を以下に示します。

2020

6 月　安土未来づくりプロジェクト始動
7 月　ヒアリング 1 巡目（7 つの地域活動団体とともに地域での取組みや地域資源などを調査）～ 8 月
10 月　ヒアリング 2 巡目（提案資料をもとに今後 5 ～ 10 年の安土未来づくりの方針案を検討）～ 11 月
12 月　座談会・アンケート・ワークショップの実施（方針案の修正・加筆）～ 3 月

2021

4 月　アイデアブック作成開始
8 月　ヒアリング 1 巡目（アイデアブック素案をもとに安土各エリアの事業可能性の検討）～ 10 月
11 月　ヒアリング 2 巡目（提案資料をもとに安土各エリアの事業可能性の検討）～ 12 月
2 月　ヒアリング 3 巡目（詳細計画案をもとに拠点ごとの活用案を検討）～ 3 月

2022

3 月　安土未来づくりアイデアブック発行（発行：近江八幡市安土町総合支所安土未来づくり課）
5 月　安土地域資源利活用社会実験実行委員会設置、未来づくり社会実験アイデアの公募（第一弾：6 月末）
6 月　民間事業者と京都大学学生チームによるアイデア検討～ 10 月
10 月　安土未来づくり社会実験「安土感動体験エコ・ウェルネスウィーク」を開催（10/28 ～ 11/13）

2023

2 月　安土未来づくり社会実験振り返りミーティング　～ 3 月
8 月　安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ　西の湖編 vol.1 (8/31)
10 月　安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ　城下町編 vol.1 (10/21)
11 月　安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ　西の湖編 vol.2 (11/6)
12 月　安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ　城下町編 vol.2 (12/4)
1 月　安土未来づくりワークショップ成果報告会

安土のこれまでの取組や課題、未来づくりの可能性を冊子にまとめました。

■安土の課題と可能性、行動計画アイデア（ワークショップより）

安土未来づくり　西の湖活用

地域でのつながりを重視した景観保全

水質環境の改善
- 西の湖の水質、水の循環が問題（アオコの発生）
- 豊浦港の放置船や杭が危ない、景観上良くない

アクセス性の改善
- 陸上の周遊路の魅力向上
  （特に北側、道案内の看板、トイレ整備など）
- 水上の周遊路の魅力向上（近江八幡と一体的に）
- 事業を束ねるプラットフォームがない
- 水門や堰によって舟が通行できない
- 豊浦港前の道路横断が危険
- 西の湖園地などの周辺に駐車場が少ない

西の湖への関心向上

レクリエーション機能の向上
- 小さな子どもが安心して遊べる場所が少ない
- キャンプ場がほしい、昔は湖畔でキャンプしていた
- 駅前に集客施設が少ない

昔の記憶，原風景の保存

水辺空間
- 常浜の港には昔、蒸気船が走っていた
- きれいな湧水が出ている場所がある
- ヨシに囲まれて風を感じられる空間

眺望と夕日
- 西の湖の夕日はあまり知られていない
- 夕日のパワースポットがある
- 昔は西の湖で花火大会が開催されていた

歴史と環境を体験できる学び場の提供

生き物の多様性
- コイやモロコなどの活用、魚捕り体験
- 淡水湖，ラムサール湖としての可能性
- 淡水真珠の養殖
- 渡り鳥が飛び立つ風景は圧巻

ヨシの活用
- よし笛ロード沿いで昔テントを張っていた
- ヨシ林は迷路のようになっていてワクワクする

西の湖周辺の課題 ⟷ **西の湖周辺の可能性**

↓

行動計画のアイデア

水上・陸上の周遊ルートの整備
【目的・効果】近江八幡－安土の連携、自由なアクセス
- よし笛ロードをつなげる、水辺へのアクセス性を高める
- 新モビリティの実証実験（自動運転、セグウェイなど）
- 夕日を西の湖周遊の目玉にする
- 水と陸の中継点をつくる（西の湖園地など）

ヨシを活用した交流・体験、環境学習
【目的・効果】観光客の増加（持続的な維持管理）
- ヨシ刈り体験　・ヨシ舟つくり体験
- ヨシで設えたおしゃれなレストラン、テラス
- ヨシ林の迷路ワクワク体験（SUP、カヌーなど）
- ヨシの制作物でコンテストの開催（大きなアート作品など）

環境学習プログラムの整備
【目的・効果】西の湖の水質改善、地域の意識の向上
- 西の湖の生態系学習（魚とり、貝の浄化作用など）
- チュウヒ（渡り鳥）の観察　・権座のお酒づくり
- 肥料づくり体験（泥、アオコの肥料化）
- 農作物販売の秋フェア開催
- 西の湖民具博物館（西の湖すてーしょん、匠の里など）
- アオコ（ゴミ）すくい大会の開催

湖上・湖畔のアクティビティ
【目的・効果】新たな観光スポット、既存施設の有効活用
- 浅小井の田舟体験　・豊浦港－西の湖園地の遊覧船
- B&G センターをカヌーの聖地に（体験教室、大会・練習場）
- 西の湖沿いのキャンプで宿泊体験　・西の湖花火の復活
- 船上レストラン、夕日レストラン
- 湖畔に見晴らし台を設置（鳥類観察の説明・施設など）
- 西の湖すてーしょん、市営住宅、豊浦港の一体的な活用

安土未来づくり　城下町活用

持続可能な発展のための基盤整備

地域の連携，担い手不足
- ボランティアが多く，事業性が低い
- 地域活動団体間の連携が難しい
- 寺社仏閣とのつながりが少ない
- 甲冑が上手く活用されていない

景観保全のルールづくり
- 観光名所が点在，周りは住宅開発が進む
- 景観保全のルールが整備されていない
- 活用ゾーン，保全ゾーンの計画が必要
- バイパス整備後の空間活用の可能性

観光客視線の利便性向上

安土城へのアクセス性の向上
- 安土城↔文芸の郷のアクセスが悪い
- 高齢者向けの移動手段が少ない
- よし笛ロードとの繋がっていない
- レンタサイクルの乗り捨てができない

レクリエーション機能の向上
- 宿泊・休息できる場所が少ない
- 古民家活用が不十分で老朽化が進む
- 特産品の販売所がない
- おしゃれで美味しいレストランが欲しい
- 駅前に飲食店が少ない

既存観光資源の活用

地域団体のまちづくり活動
- 地域住民によるまちづくり活動が盛ん
- マルシェが盛んに行われている
- 手作りの甲冑などの安土ならではの取り組み
- 安土小学校の芝生・体育館は残してほしい
- 城下町らしい町並み、建物が残っている

豊かな歴史資源
- 史跡（安土山・信長），自然が豊かな場所
- 安土城跡外堀めぐりの運航
- 織田信長が催した盂蘭盆会（うらぼんえ）
- 沙沙貴神社～常浜の町並み，湧水

城下町周辺の課題 ⟷ **城下町周辺の可能性**

↓

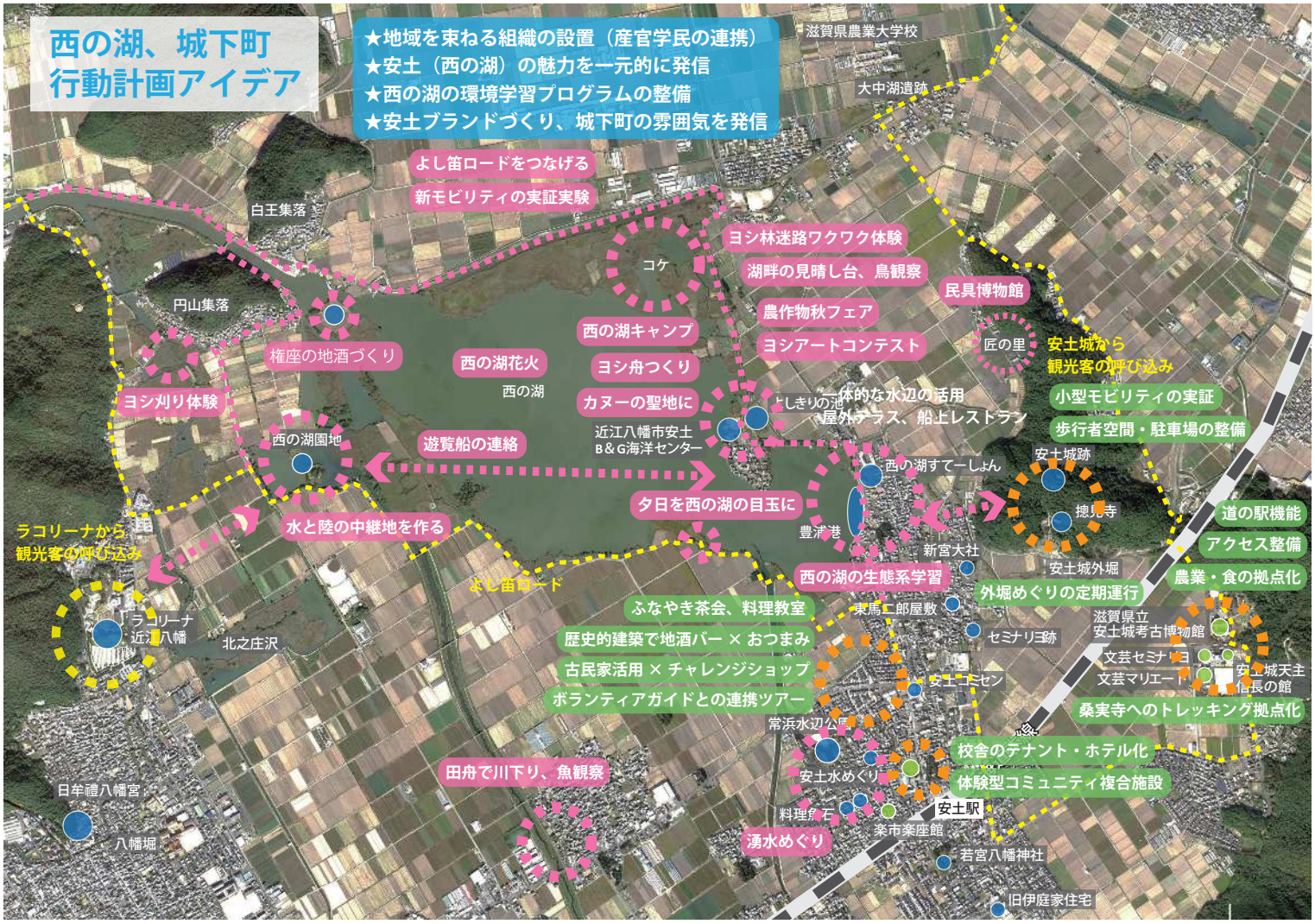
行動計画のアイデア

安土山麓部の活用
【目的・効果】歴史的資源の活用，山地の活用・管理
- 小型モビリティの拠点
- 県道バイパスと合わせた歩行者道路の整備
- 安土城のイルミネーション，盂蘭盆会
- 楽市楽座マルシェ，武将甲冑・着付けレンタル
- キャンプ場，アウトドア関係の企業を呼び込む
- 石垣の見える化，ガイド・教員の人材育成

- 歴史の「学びのまち」に応えるプログラムづくり
  面白い歴史のストーリーを活かして見せる
  （信長，佐々木六角）
- 歴史ファンを取り込んだ参加型イベントづくり
  地元参加型イベント × 外から参加したいイベント
- 歴史的建物と飲食で、歴史ある雰囲気を体験する

安土小学校の跡地活用
【目的・効果】公共施設の管理・活用，交流の場
- 芝生，旧校舎を残してテナント、ホテル
- 昼はカフェ，夜は利き酒バー
- 既存の飲食店，新規出店のお試し出店
- 誰がどう経営するのかを検討する

歴史的建築物の活用
【目的・効果】歴史的建築のメンテナンス・活用
- 空家活用，チャレンジショップ
  （沙沙貴神社～常浜）
- 安土のお酒，地元の食事，特産品販売
- 小学校活用と連携したイベント開催
- ボランティアガイドと連携したツアー

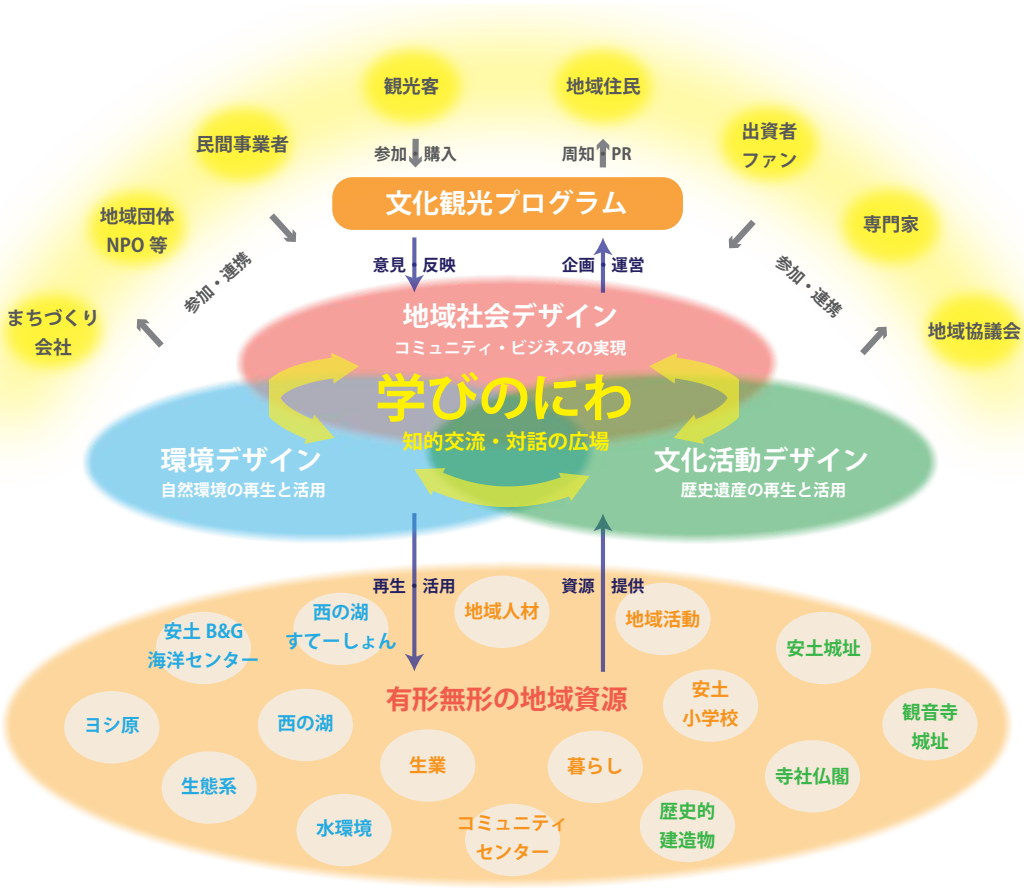


” 学びのにわ ” 構想とは

安土には、地域住民が大切に思う昔の記憶や原風景があり、歴史と自然を体験しながら学べる場所がたくさんあります。一方で、高齢化や人口減少が進む中、原風景や原体験を次世代に継承していくことがまちづくりの重要な課題です。そこで、安土 ” 学びのにわ ” 構想というコンセプトを掲げ、安土特有の文化と美しい景観を継承し、再生、創造するための未来の姿を描きました。” 学びのにわ ” は、有形無形の地域資源を活用し、地域の人々や歴史、文化、景観を通じた知的交流を楽しむ日本の広場です。これは、最終的な着地点ではなく、ヴィジョン（方向性）としての問題提起であり、未来に向けた議論の出発点と考えています。

地域資源の循環と連携による環境の再生

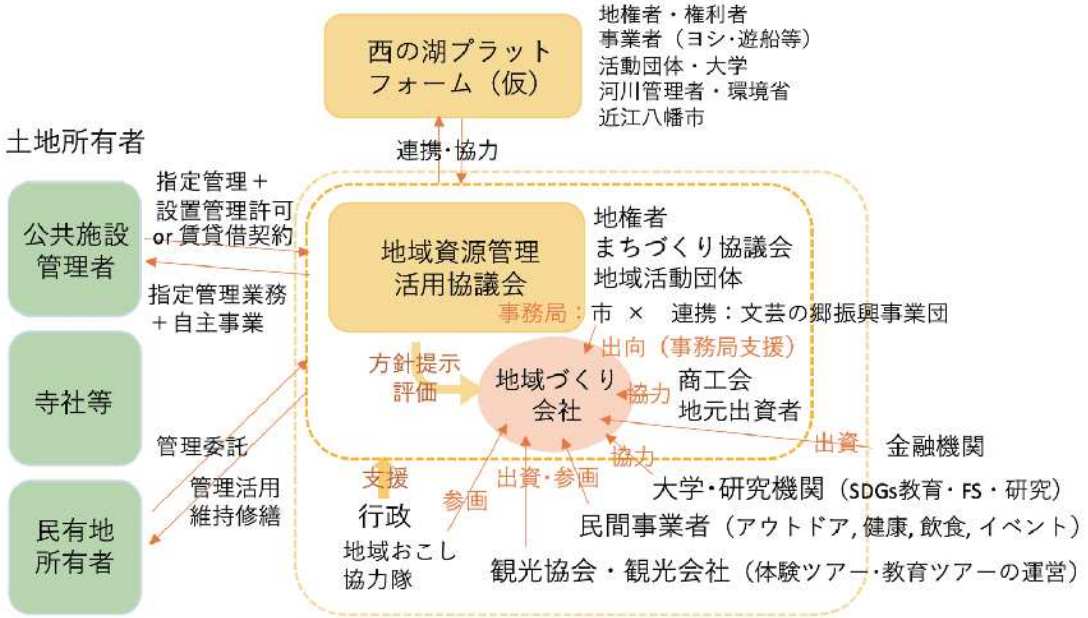
安土に点在する有形無形の歴史資源・自然資源を活用し、多様な主体間連携が生む共同体によって、これまでに培われてきた地域社会や環境、文化活動をさらに発展させ、歴史・文化が実感できる「文化観光プログラム」の充実を目指します。文化観光事業が持続的に運営されるためには、地域の生活や産業が欠かせません。様々な地域資源や地域活動が連携し、人と人、人と環境の関わりが生まれることで、環境や資源の循環が生み出され、地域がより健康で豊かになっていく、知的交流・対話の場（学びのにわ）の実現を図ります。



地域自治のプラットフォームづくり

安土”学びのにわ”構想を実践に移すためには、地域をまとめるコーディネート機能の実現や、そのための事業性の確立が必要になります。地域の連携強化や外部の支援・協力者の参画によって、「稼ぐ」力を育てながら、情報発信や体験・交流のまちづくりの事業化を進め、様々な地域活動を続けられる仕組みをつくっていくことが、これからの安土の地域づくりに求められています。そのためには、地域の文化・自然体験プログラム事業、歴史的建造物の活用事業を実行し、地域連携のコーディネートを担う地域づくり実行組織をつくる必要があります。その収益の柱として、まずはできることから施行的アクションを重ね、事業可能性の高いプログラムの整備を検討します。

地域まちづくり会社を核とする安土地域プラットフォーム構想　（将来の組織体制イメージ）



西の湖エリア

西の湖自然環境学習 × 水辺アクティビティ体験

既存施設（西の湖すてーしょん、B&G 海洋センター）の新たな活用と宿泊複合施設の整備

城下町エリア

地域課題解決セミナー × 生業・暮らしの体験

安土城エリア

信長と城郭の歴史学習 × アウトドア・農業体験

バイパス整備に伴う歩行者空間の拡大と歴史公園（イベント広場）の整備

文芸の郷エリア

森林教育・歴史学習 × キッズ・プレイパーク体験

親子世代・未就学児を対象とした公民連携キッズパークの整備、駐車場整備とアクセシビリティの改善

各拠点のアクセス改善：
道路と駐車場のアクセシビリティ改善
次世代モビリティを活用したパークアンドライド

安土城・文芸の郷エリア

懐かしい未来のふるさとづくり

安土には、全国的に知名度のある安土城址や城下町、中世五大山城の一つに数えられる観音寺城址など、戦国時代の歴史を今に伝える数多くの遺産が残されています。これらの貴重な資源の保護・活用していくためには、地域を支える主体間の連携強化や、新たな支援・協力者を得ることが今後の重要な課題となります。また、県道２号線のバイパス整備が検討される中で、地域の歴史遺産や水辺の環境を守りながら、循環ルートの整備や既存施設の新たな活用を図り、さらに新たな拠点を設けることが求められています。これらの取り組みによって、地域の人々が安土の魅力を再発見し、発信し、未来へと継承する”文化景観博物館”として整備することで、地域の歴史や魅力を広く発信し、次世代へと継承することが可能になるでしょう。

「近江国蒲生郡安土城之図」（明治 29 年 5 月、嵜碕品山模写）

安土山麓 歴史公園の整備

安土城の南正面に広がる歴史公園では、かつての安土時代を思い起こさせる風景がよみがえります。近代的な施設はできるだけ控え、内堀を拡張して水路を引き込み、大手道へと続く橋をつくり、かつての沼地の景観が再現されます。内堀は水環境の再生を含めて整備され、手漕ぎ舟が行き交い、船頭やガイドがその魅力を伝えます。広場では多様な活動が行われ、楽市楽座の精神を取り入れたマルシェ、武将甲冑の着付け体験、盂蘭盆会の再現など歴史と現代が交差する空間が広がります。

（パース作成：オーガイア）

道の駅機能の拡充

安土山を仰ぎ見る景観のなかに、産業、観光、交通の拠点が添えられ、世代を超えて人々が集い、散策や食事を楽しむ場所となります。文芸の郷の道の駅機能を強化し、安土城跡と一体となって地域の魅力を発信します。また、観音寺城跡や桑実寺へのトレッキングの拠点としても活用され、散策や自然歩きのツアーが楽しめる場所となります。学芸員や専門家などの講師を迎え、発掘体験や石垣の清掃、石積み体験を通じて、歴史や自然に直接触れることができます。また、森林を活用した小規模ながら本格的な教育の拠点として、訪れる人々が文化を学び深める場となります。

（パース作成：オーガイア）

安土周遊路の整備

内堀・外堀からセミナリヨ史跡公園を経て、西の湖へと続く周遊路が整備され、水路と陸路が交差する新たな風景が生まれます。

緑化された安土城跡前の駐車場に車を停め、西へと並木道を進むと、安土城下町の趣あるまち並みや西の湖の風景が広がります。また、安土の歴史ガイドを搭載したゴルフカート型の自動運転車が導入され、安土城跡や文芸の郷へのアクセスが向上されます。訪れる人々は歴史の深みを感じながら、ゆったりとした移動を楽しむことができます。

（パース作成：オーガイア）

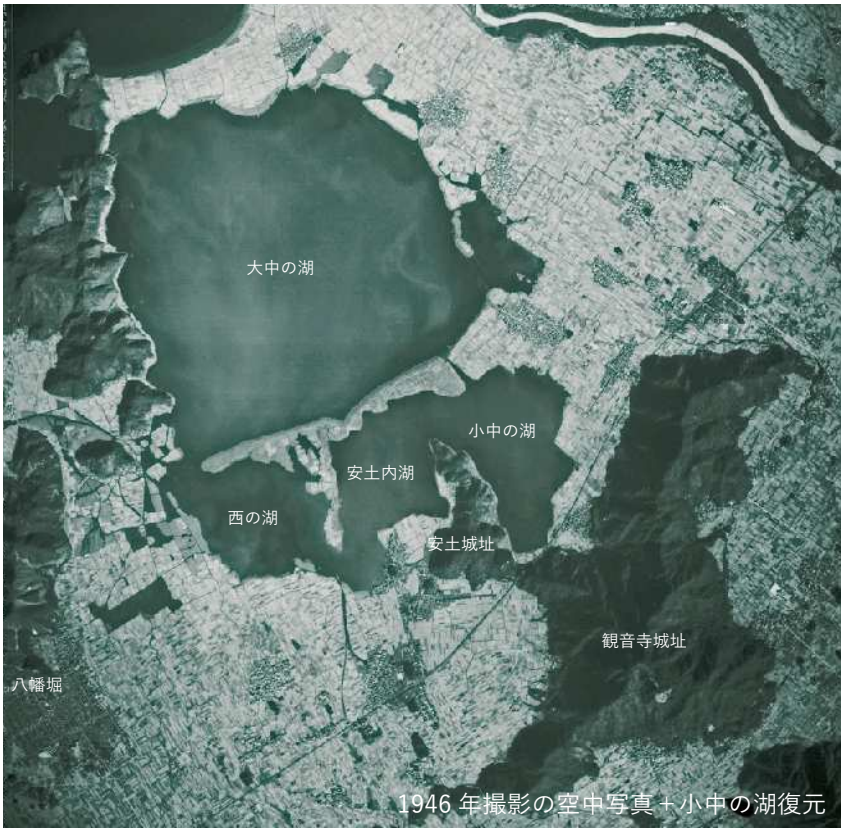
西の湖エリア

湖川が紡ぐ、水との原体験

かつて西の湖は安土山麓まで水面が広がり、交通の要所として多くの人々が往来する場所でしたが、戦後の干拓によって水面は減少し、ヨシ産業や観光業などを担う後継者不足が課題となっています。琵琶湖最大の内湖であり、重要文化的景観に指定される西の湖の貴重な自然環境を次世代へと引き継ぐためには、西の湖に関心を持つ機会を創出し、関係人口を増やし、ファンや事業者を増やす取り組みが求められています。西の湖を舞台に環境学習を実施できる公共施設を活用し、また、近江八幡と安土をつなぐ観光交通の整備を進めることで、地域資源循環の基盤を形成することが期待されます。

湖川の回遊ルートの再生

安土と近江八幡をつなぐ水郷には、住民の生活に根ざした風景が息づいています。安土城の外堀、ヨシ原が広がる西の湖、集落内の水路や旧港、湧水、八幡堀等がその一例です。これらを結ぶ、安土城＝西の湖＝八幡山城の回遊コースを整備し、陸の街道と連携して地域の活性化を目指します。具体的には、西の湖北側の回遊路の整備、西の湖園地等の中継地点の整備、近江八幡と安土を結ぶ西の湖周遊船の運行、沿川・湖岸の修景や休憩所の整備などが望まれます。また、環境負荷低減や生物多様性の観点からは船舶電動化、次世代モビリティの導入、湖畔の展望台、鳥類観察施設・案内板等の整備が期待されます。



1946 年撮影の空中写真＋小中の湖復元

西の湖テラスの整備

屋外テラスや船上レストランを整備し、訪れる人々が夕日を眺めながら特別な食事体験を楽しめる場所を創出します。中長期的には、西の湖すてーしょん、市営住宅跡地、豊浦港を一体的に整備し、地域の文化や観光拠点としての機能を強化します。このエリアには、博物館や商業施設、宿泊施設、サテライトオフィス、コミュニティスペース等を含む複合施設を整備し、ヨシをテーマにした水辺の環境学習とアウトドア拠点として水辺と調和した環境を創出します。

B&G 海洋センターの艇庫には、水辺アクティビティ企業等を誘致し、地元団体との共同運営体制を構築することで、これまでの地域の取り組みとの調和した新たな活動を推進します。この方針に基づき、自然のヨシ原の迷路体験、ヨシをテーマにしたアート展示イベント、プロ講師によるカヌー体験教室やカヌー大会・練習場の整備、西の湖沿いのキャンプ宿泊体験や星空観察体験、などの体験型の環境学習プログラムを提供します。

道路屈曲・デッキ張出案
（パース作成：オーガイア）

道路線形維持案
（パース作成：オーガイア）

環境学習プログラムの展開

地元講師と専門家による講座を開講し、一年間を通して、水と生活のつながりを体験できるプログラムを整備します。具体的には、ヨシ舟づくり、ヨシ刈り、ヨシ焼き、ヨシ灯りといった「ヨシ体験」に加え、ヨシ製品の開発にも取り組みます。また、水質浄化をテーマに、水上アクティビティ（カヌー、SUP）とゴミ拾い（アオコ）、浄化実験を組み合わせた体験型プログラムを提供します。食文化体験では、湖魚料理やじゅんじゅん、ふのやきなどの郷土料理教室を通じて、地域の食文化にふれることができます。さらに、底泥や水草の堆肥化、市民農園の運営や農業体験、燃料づくり（スクモ）や焚き火体験、農産物フェアの開催も期待できます。西の湖の生態系学習では、魚とり、渡り鳥の観察、淡水真珠オーナー制度の導入を通じて、西の湖の環境保全に参加する機会を提供します。これらの活動は地域のプラットフォームを通じて発信され、地域や訪問者に一元的に情報を届けます。環境学習活動に対する補助金を適宜活用し、初期運営費や人件費を獲得しつつ、イベントを通じた寄付を促進し、持続可能な活動基盤を構築することも重要です。

ヨシ舟づくり
「安土城下町再生　葦舟で結ぶ風景」（[illegible]研究室）

ヨシアート

生態系学習

水辺アクティビ[illegible]

地産地消キャンプ
社会実験時の写真

城下町エリア

風情ある街道の賑わいの再生

安土の城下町は、かつて楽市楽座令が発布され、国内外の文化交流が盛んな商業拠点として栄えていました。しかし、近年では、駐車場や空き家の増加や新旧住民間の交流の希薄化が課題となっています。かつての賑やかな城下町の雰囲気を再び醸成するためには、歴史的建造物や公共施設を活用した、地域社会デザイン（コミュニティ・ビジネス）の展開が必要です。安土のまちづくりや文化体験の拠点として、歴史的建造物を積極的に活用し、住民と行政がともに自己変革に取り組むことで、官民一体で新たな事業を生み出すこと持続可能な発展を支える基盤となるでしょう。また、安土駅前から楽市楽座館への商店街、沙沙貴神社から常浜への街道はソフト的な取り組みから機運を生み出し、駅前の安土小学校跡地を舞台としたイベントとも連携して地域全体で魅力を発信することが重要です。

地域案内人によるまち歩き

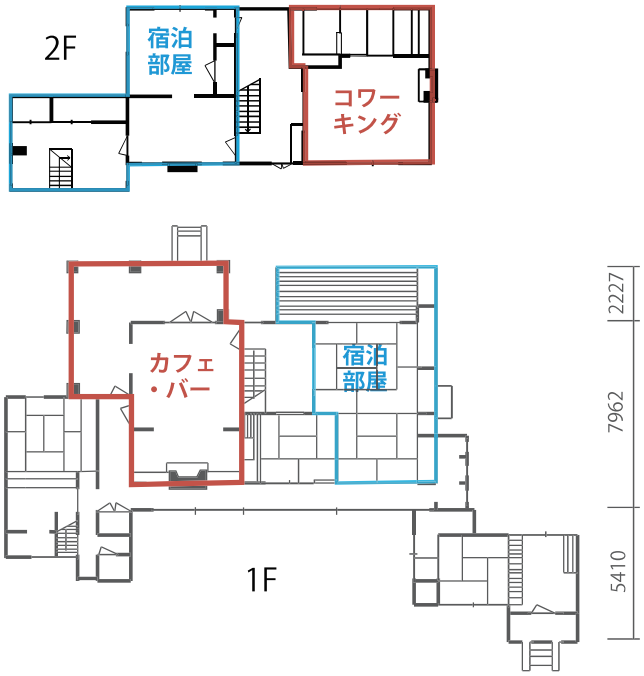
信長や佐々木六角などの歴史の魅力をストーリーとして見せるだけでなく、生活文化やライフスタイルを紹介するまち歩きを提供します。学芸員や外部講師によるまち歩きの講座を開催し、能力の育成を図るとともに、まち歩きマップの作成やアプリと連携した発信を行います。食事施設や商業施設、宿泊施設との連携を行い、自立的な経営の可能性を探ります。

歴史的建造物の活用

城下町に点在する多種多様な歴史的建造物を活用して、安土のライフスタイル留意した新たな拠点を生み出します。コミュニティ・カフェ＆バーや民泊・宿泊体験施設だけでなく、まちづくり会社の事務所やワーキングスペース、チャレンジショップなど新しい事業の試みをサポートするスペースとしての活用も望まれるでしょう。

安土の地酒を楽しめるバーや郷土料理体験、庭づくりや DIY ワークショップ、着付け体験や庭園鑑賞・茶会など、歴史の趣きを感じながら食や文化を体験できる場が生まれます。

■旧伊庭家住宅活用イメージ



城下町探索ツアー

庭園鑑賞ツアー

お茶会・郷土料理

社会実験時の写真

学校跡地の活用

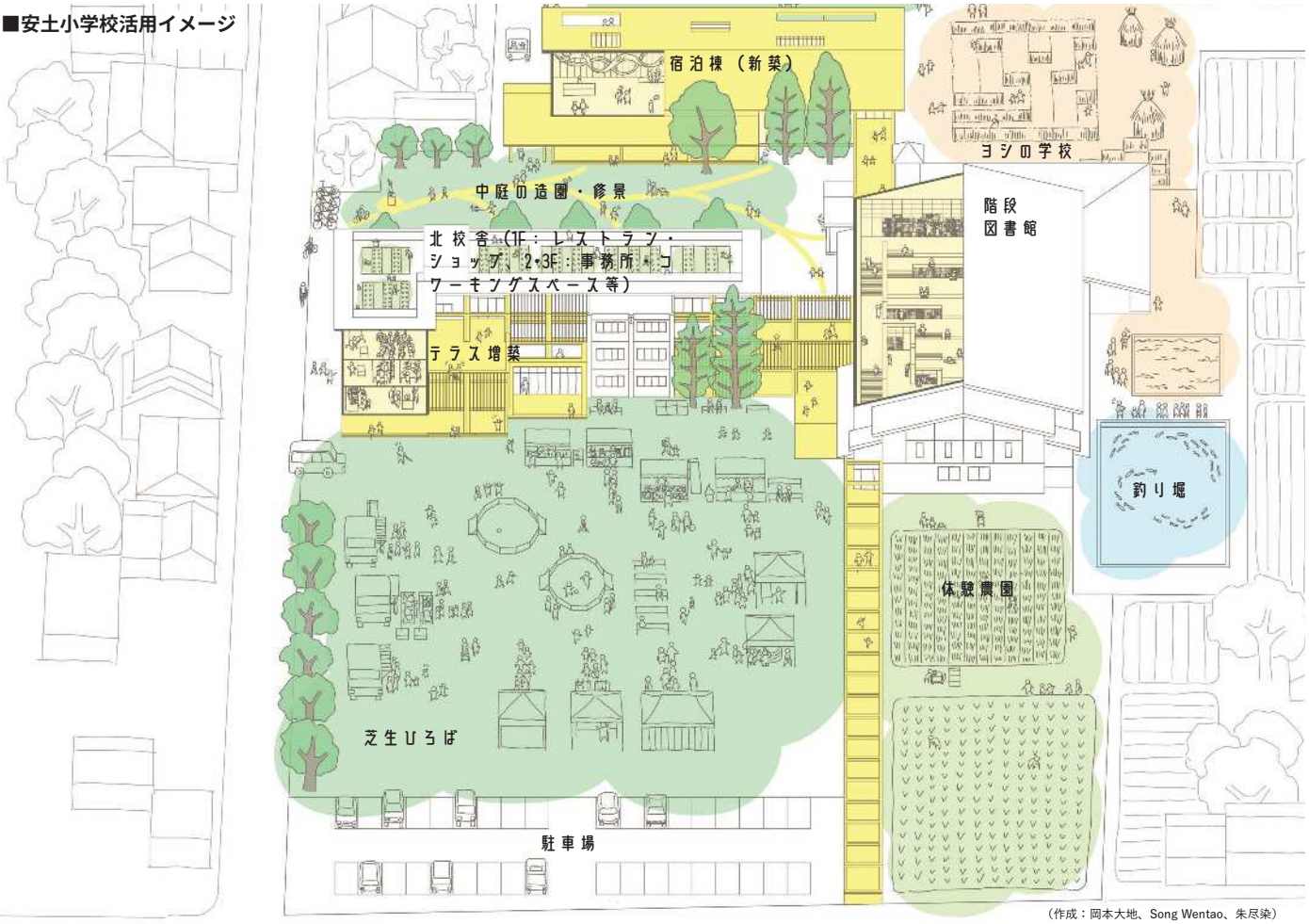
安土小学校跡地は、校舎や芝生グラウンドの懐かしい雰囲気を残しながら、段階的に改修を進め、テナント誘致や宿泊施設の整備を行います。事業性を慎重に考慮しつつ、造園や修景によって地場材や植物が豊かな空間づくりを行い、センスのあるカフェやレストランなどが集まる空間づくりを目指します。

公的補助金（観光庁等）などの資金面での支援を検討し、運営会社の立ち上げや全体方針を検討する地域協議会との連携を進めることも重要です。さらに、西の湖ツーリズムや文芸の郷のハイキングと連携することで、地域全体の観光資源を相互に発展させる事業展開が期待されます。

（パース作成：朱尽染）

（パース作成：朱尽染）

■安土小学校活用イメージ



（作成：岡本大地、Song Wentao、朱尽染）

西の湖周辺まちづくり　ロードマップ

短期（施行的アクション）　：　公共施設を拠点とした外向きのイベントを実施、企業・行政補助金活用、市・大学の支援
中期（定常化・自立的運営）：　環境学習プログラムの整備（事業化）、地域をまとめる組織と実行組織の設立（自立化）
長期（事業拡大・拠点整備）：　公共施設周辺の一体的な整備

取組	活用資源		取り組みの内容（ハード・ソフト）	想定される主体/協力団体	取組時期（2年以内）	（3～5年）	（中長期）
西の湖テラス	西の湖すてーしょん	ハード	内装リニューアル、カフェやコワーキング・スペース整備、アウトドア拠点整備	民間事業者（定期建物賃貸契約等）			→
			デッキ整備（夕日のブランディング、アウトドア・カフェの利用）	民間事業者（定期建物賃貸契約等）	■ ■ ■	→	→
		ソフト	フェノロジーカレンダー、ローカルメディアの作成（最終的に冊子化）	地域団体	→		
			イベント時の利用（倉庫、休憩所、シャワー、着替え場）	水上アクティビティ事業者等	→	→	
			レンタサイクルの実施	レンタサイクル事業者等	■ ■ ■	→	→
			チャレンジ・ショップ＆マルシェ	事業提案者の公募	→		
			コミュニティ・カフェ（レストラン）営業/レンタルBOX・スペース/環境学習体験・交流プログラム	事業提案者の公募		→	→
			ヨシ製品の開発（例：石鹸、ストランドボード、工務店とコラボした内装デザイン、パッケージ等）	民間事業者、地元企業等		→	→
	豊浦舟だまり周辺の河川空間・水面利用	ハード	港及び水辺空間整備（護岸、桟橋、休憩場所、道、緑化）	行政			→
			近隣市有地の活用（公民連携事業）	行政			→
			ヨシの浮島カフェ	民間企業			→
		ソフト	放置船の撤去、清掃（ゴミ拾い活動、アオコ除去）	行政、地域団体	→		
			河川空間利用（キッチンカー、カフェ）	民間事業者（河川占用主体）	■ ■ ■	→	→
			屋台船カフェ、サンセットクルーズ（食事提供）	民間事業者（公募）	■ ■ ■	→	→
			水上のシンボル作成（台船、葦アート）、湖面のライトアップ	大学、地域団体	■ ■ ■	→	→
			環境保全実験（浮島工、水草の堆肥化、底泥除去、脱水土の用土利用→農産物の高付加価値化）	民間事業者、地域団体等	■ ■ ■	→	→
西の湖キャンプ	西の湖ふれあいセンター・安土B＆G海洋センター	ハード	グランピング、キャンプ施設の整備（西の湖ふれあいハウス、安土B＆G海洋センターとその近隣の民地）	民間事業者（グランピング等）			→
			釣り客・観光駐車場の活用・整備（船上ホテル、車屋整備）	民間事業者等			→
			湖畔の展望台、鳥類観察施設、案内板の整備（回遊ルートの整備）	行政		■ ■ ■	→
		ソフト	水上アクティビティ体験（水郷エリアはSUP、西の湖はカヌー）	B＆Gセンター、ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ事業者等	→	→	→
			冬場の環境学習（水質浄化の参加型イベントなど）	B＆Gセンター、ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ事業者等	→	→	→
			アウトドア体験（キャンプ・バーベキュー）、戦国スタイルのキャンプ（武士の野営、焚き火）イベント	地域団体、民間事業者（飲食など）	→	→	→
			宿泊とセットのツアー開催、ウェルネスツアー開催（ウェルネスウォーク、サンセット・SUPヨガ）	観光事業者、地域団体	→	→	→
			自然体験学習（西の湖ふれあいハウスの活用）	地域団体	→	→	→
			船舶電動化、水上エコ・モビリティ実証実験	民間事業者等		■ ■ ■	→

文化観光プログラム

西の湖 食文化体験

西の湖テラス
湖上でプライベートな時間を満喫！

21

湖上のテラスでクルージングランチや、夕日を楽しむプライベートツアーです。周辺料亭とコラボして、料理を湖上でゆっくり楽しむことができます。豊浦港から西の湖をめぐり、停留して大自然のなかでプライベートなランチ、ディナーが体験できます。

【開催候補地】
西の湖、豊浦港
【協力団体イメージ】
近江八幡市内の宿泊事業者

西の湖食の体験

25

西の湖を周遊した後、地産地消の食文化を体験できます。料理教室などの定期開催も行われます。

【開催候補地】
西の湖
【協力団体イメージ】
安土町商工会

西の湖サンセットクルーズ・じゅんじゅん体験

34

船上で夕日を眺めながら郷土料理じゅんじゅんを食すクルーズツアーです。船頭の案内で西の湖の歴史、暮らし・生業、生態系を学ぶことができます。

【開催候補地】
西の湖すてーしょん
【協力団体イメージ】
ねっとわーく西の湖

豊浦ボート・ビアガーデン

38

船着き場の新たな活用プログラムです。農家のこだわりの野菜を使ったスムージーや料理が提供されます。定期的なビアガーデンの開催から、中長期的には船着き場の整備を目指します。

【開催候補地】
豊浦港
【協力団体イメージ】
飲食事業者
安土学区まちづくり協議会

西の湖（下豊浦）コミュニティカフェ

西の湖すてーしょんの新たな活用方策です。福祉子育て系機能の充実を図り、キッズスペースやカフェを設置します。ヨガ教室や食プログラムを充実し、西の湖タロコンサートなどのイベント会場として活用できます。

【開催候補地】
西の湖すてーしょん
【協力団体イメージ】
ねっとわーく西の湖
社会福祉法人

西の湖 ヨシ体験

ヨシ刈り体験

27

ヨシ刈り体験やヨシにまつわる生態学習（野鳥観察）が行われます。ヨシ焼き見学やヨシ職人の職場見学・体験などもできます。

【開催候補地】
西の湖ヨシ原
【協力団体イメージ】
市民自然観察会
ヨシ葺き職人
西の湖ヨシ灯り実行委員会

ヨシ舟体験

西の湖のヨシを刈り取り、手作りでヨシ舟を制作します。合宿形式で環境学習も合わせて行われるため、ヨシの水質浄化作用を学ぶことができます。

【開催候補地】
B&G海洋センター、西の湖
【協力団体イメージ】
ヨシ所有者等

ヨシ灯りアート展
やさしい灯りでまちがつつまれる！

42

現在行われている西の湖ヨシ灯り展を周辺にも一部展開し、アーティストと協働で制作を行います。公共施設（駅など）のライトアップイベントと同時開催し、まち一体がにぎやかに彩られます。子どもたちの作品展示が並び、親子連れで楽しむマルシェイベントなどが同時開催されます。

【場所候補地】
西の湖周辺
【協力団体イメージ】
Biwakoビエンナーレ
西の湖ヨシ灯り展実行委員会

西の湖体験学習・生き物観察

26

西の湖の生態系や環境について学習できます。双眼鏡での野鳥観察、顕微鏡でのプランクトン観察など自然を目一杯楽しむ体験型学習教室・ツアーが楽しめます。

【開催候補地】
よしきりの池
B&G海洋センター周辺
【協力団体イメージ】
西の湖あそび隊
安土学区まちづくり協議会
琵琶湖博物館の学芸員

ヨシ製品開発

西の湖のヨシを活用した石鹸や地酒のパッケージ、工芸店とコラボしたヨシ材内装のデザインを行います。環境保全に貢献する商品を開発し、高付加価値化を行います。

【開催候補地】
西の湖すてーしょん
【協力団体イメージ】
地場会社、地元工芸店、ヨシ所有者等

水辺環境 生き物学習

西の湖淡水真珠養殖体験

31

真珠養殖や加工体験、歴史体験（斎木さんに聞く）などの体験プログラムです。自分だけのアクセサリーを、真珠を取るところから体験できます。

【開催候補地】
西の湖すてーしょん
【協力団体イメージ】
斎木産業

水草の堆肥化

西の湖の水草やアオコを堆肥化することで環境保全に貢献します。有機農地を推進し、農産物の高付加価値化に貢献することもできます。

【開催候補地】
西の湖、周辺農地

【協力団体イメージ】
農業従事者等

底泥の資源化

池の水を抜かずに底泥を除去するエコシステムを導入します。排出される脱水土は栄養が豊富なだけでなく、保水性にも優れ、植物用土として活用することができます。これを活用し、有機農業を促進し、農産物の高付加価値化を図ります。

【開催候補地】
西の湖
【協力団体イメージ】
外部事業者（初雁興業株式会社等）

老蘇の生き物観察

47

老蘇の森での植物・生き物観察を行います。ビオトープの草花に生息する生き物観察やホタルの生態学習が実施されます。

【開催候地】
老蘇の森、湧水地、ビオトープ
水路、田んぼなど
【協力団体イメージ】
老蘇学区まちづくり協議会
ビオトープ委員会

西の湖漁業体験

西の湖伝統漁法（エリ漁）などの体験ができます。西の湖の歴史と生態系の学習からはじめ、実験・自由研究を行い少しずつ再生を図ります。

【開催候地】
西の湖
【協力団体イメージ】
琵琶湖博物館の学芸員

クリーンSUP隊

水辺のスポーツとしてゴミ拾い大会を開催し、環境保全を行うメンバー制のクラブを結成します。ボートから漁網を使ってごみを回収したり、SUPで水辺を探検しながらゴミ拾いをしたりして、楽しく環境保全を学ぶことができます。

【開催候地】
B&G海洋センター、西の湖

【協力団体イメージ】
安土町商工会青年部会

舟運と水郷めぐり

37

常浜、西の湖すてーしょんを発着地点とし、水郷を和船でめぐります。レンタサイクルと連携して、乗り捨て可能に（割増料金）。

【開催候地】
常浜⇔西の湖すてーしょん
【協力団体イメージ】
安土町商工会
ねっとわーく西の湖

アウトドア スポーツ 体験

西の湖周遊サイクリング

30

西の湖すてーしょんにレンタル・サイクルベースを配置し、西の湖周辺飲食店のテイクアウト利用の促進を行います。西の湖一周コースの魅力アップを行い、ビワイチとの連携を図ります。

【開催候地】
西の湖周遊路
【協力団体イメージ】
安土町商工会
滋賀県（ビワイチ）

西の湖自然塾

23

プロ講師によるカヌー・カヤック・SUP教室、手ぶらBBQ、テントサイト宿泊、夜にはナイトトカヌーツアーが開催されます。地域の人が参加できる研修会も考えられます。

【開催候地】
西の湖すてーしょん
B&G海洋センター
【協力団体イメージ】
BSCウォータースポーツセンター
B&G海洋センター

湖上ライブ

29

西の湖上で楽しむ新しい形の音楽体験です。水上カヌー体験・キャンプイベントと同時開催できます。

【開催候地】
西の湖畔
【協力団体イメージ】
B&G海洋センター

ヨシの浮島カフェ

西の湖上にランドマークとなるヨシの浮島カフェを設置し、陸と湖の両方からアクセスできるようにします。ここでしか味わえない体験を提供し、多くの人を引き付けるだけでなく、西の湖の魅力と環境保全への関心を高める入口となる文化観光スポットを目指します。

【開催候地】
B&G海洋センター、西の湖等
【協力団体イメージ】
ヨシ所有者、水辺アクティビティ事業者等

西の湖サウナスパ

大自然のなかで美しい景色を楽しむキャンプ、SUP、カヌーなどを合わせたイベントが開催されます。レンタルサウナとプールで大自然を楽しむことができます。

【開催候地】
西の湖畔
【協力団体イメージ】
西の湖すてーしょん

安土モバイル・キャンピングツアー
泊まれるモビリティで自然を体感！

22

観光駐車場を活用した、移動と滞在が統合された「泊まれる」モビリティサービスの提案です。まずはレンタル（キャンピングカー、モバイルバス）で実証実験を実施し、常時運営の実現を図ります。マイクロモビリティ（自動車、電動キックボード）とセットでレンタルすることで西の湖周遊を楽しむことができます。

【開催候地】
観光駐車場
【協力団体イメージ】
モバイルバス会社（BUSHOUSEなど）

西の湖周遊レンタル・スローモビリティ

電動小型低速者を活用し、西の湖沿いの道路を巡ることができます。自動音声ナビを搭載しキャラクターによる案内が行われます。西の湖沿いに、戦国時代の人物やキャラクターと記念撮影スポットをつくり周辺の魅力向上を図ります（AR・XR活用）。

【開催候地】
西の湖周辺
【協力団体イメージ】
近江八幡観光物産協会

西の湖ウェルネスツーリズム

36

夕日を見ながら西の湖めぐりで健康食が楽しめます。夕日で心を癒やされるカヌー・SUP体験なども提供。病院と連携した医学的なサポート（定期検診・人間ドックとセット）が実施されます。

【開催候地】
西の湖周遊路
【協力団体イメージ】
ヴォーリズ記念病院

西の湖マルシェ

40

西の湖畔で開かれるアート、音楽、ブック、雑貨のマルシェです。西の湖の自然に囲まれて趣味を共有する空間になります。

【開催候地】
西の湖畔
【協力団体イメージ】
安土町商工会
沙沙貴神社

自然浴ウェルネスセラピーツアー

24

安土、老蘇の自然を体感するセラピーツアーです。夕日浴、日光浴、森林浴、星空浴など様々な「自然浴」が楽しめます。間伐材を活用したアロマセラピーづくりなどのプログラム開発も行われます。

【開催候地】
西の湖、観音寺城など
【協力団体イメージ】
ヨガインストラクター
長命寺温泉　天葉の湯

安土城・城下町周辺まちづくり　ロードマップ

短期（施行的アクション）　：　地域イベントに歴史ファンを取り込み外向きに、企業・行政補助金活用、市・大学の支援
中期（定常化・自立的運営）：　安土城と城下町の連携プログラムの整備、地域をまとめる組織と実行組織の設立（自立化）
長期（事業拡大・拠点整備）：　安土山麓の歴史公園、小学校跡地等の一体的な整備・活用

取組	活用資源		取り組みの内容（ハード・ソフト）	想定される主体/協力団体	取組時期（2年以内）	（3～5年）	（中長期）
安土城・文芸の郷	安土山麓部	ハード	県道2号線のバイパス整備に伴う新設道路等の整備	行政			→
			安土山麓部の歴史公園整備（外堀・内堀、橋、広場等の再生）	行政			→
		ソフト	戦国時代再現イベント（野営キャンプ、武将甲冑着付けレンタル、乗馬体験など）	観光事業者、地域団体	■ ■ ■	→	→
			スローモビリティ実証実験（マイクロモビリティ、ゴルフカート等）	行政、民間企業等	■ ■ ■	→	→
	文芸の郷	ハード	教育体験、森林教育拠点整備（キッズパーク等）	行政、民間事業者等			→
		ソフト	トレッキングツアー、森と暮らしの地域塾（大工体験、石積み、発掘、芸術体験など）	専門家・学芸員、民間事業者	■ ■ ■	→	→
			公民連携拠点活用（キッズパーク、森林教育など）	行政、民間事業者等		■ ■ ■	→
城下町地域資源活用	安土小学校跡地	ハード	コミュニティ複合施設（事務所、文化・歴史体験、保育施設、レストラン、オーガニックガーデン等）	行政、地域団体、民間事業者等		■ ■ ■	→
			宿泊体験事業（グリーン・ツーリズム拠点、ワーケーション施設等）	行政、地域団体、民間事業者等		■ ■ ■	→
		ソフト	校舎・校庭を活用したイベント（安土っ子フェスティバル、サマーフェスティバル）	地域団体	→		
	（小中）旧伊庭家住宅	ハード	クラウドファンディングによる補修・復元	地域団体等			→
			ヴォーリズ建築の宿泊体験のための施設整備	公募民間事業者等			→
		ソフト	宿泊体験事業	NPO等	→	→	→
			コミュニティカフェ・バー利用、不定期のイベント開催（マルシェ、演奏会）	地域団体（商工会青年部やNPO）等	→	→	→
			庭の再生ワークショップ	NPO等	→	→	→
	A邸（下豊浦）	ハード	レストラン、コミュニティ・カフェ併設のゲストハウス、体験・交流スペース等、の施設整備	所有者、民間事業者等			→
		ソフト	社会実験・イベント（カフェ、庭づくり、DIY、まちづくりワークショップ）	地域団体、大学、民間事業者等	→	→	→
	S家住宅（東老蘇）	ハード	建物・庭園の維持管理・修繕	所有者（建物）、ボランティア（庭園）	→	→	→
		ソフト	場所貸し事業化（ギャラリー、文化体験・教室、ウェディングなど）、高級路線での民泊	利用者	→	→	→

文化観光プログラム

安土歴史体験

安土城址魅力発見・探索
安土城址の石垣を観て学ぶ体験学習！ 1

全国の信長ファンを集め、地元ガイドとともに当時のまま残る石垣から歴史を学ぶツアーを開催します。VR等の映像技術を活用しながら、国の特別史跡・安土城址の魅力や謎に迫ります。

【開催候補地】
安土城址

【協力団体イメージ】
安土観光ボランティア協会
安土城考古博物館

戦国武将体験
6

戦国時代の衣装を着て、相撲、剣道、弓道、乗馬などを体験できます。子ども、外国人などを対象にした体験会、炊き出しなどを行い、新宮大社でイベント的に開催することも考えられます。

【開催候補地】
新宮大社
【協力団体イメージ】
安土町商工会など

安土デジタル・アート・フェスティバル
3

安土城址を活用し、安土桃山時代をテーマとした、デジタルアートによるフェスティバルです。石垣を用いたプロジェクションマッピングや森の散策アートイベントなどのプログラムが楽しめます。

【開催候補地】
安土城址
【協力団体イメージ】
近江八幡観光物産協会

安土城址マルシェ・青空ヨガ
11

地元の食材を楽しめるマルシェです。甲冑試着体験・記念撮影など信長／戦国時代をテーマとしたイベントや青空ヨガなど健康イベントを開催できます。

【開催候補地】
観光駐車場
【協力団体イメージ】
地域おこし協力隊など

「信長御膳」体験
信長が家康にもてなした御膳を再現！
2

織田信長が徳川家康を安土に招いて、もてなした御膳を体験できます。安土の料理人とコラボして、信長の館学芸員協力のもと、地産地消の食材を用いて、豪華な料理を現代版として再現し、お弁当・仕出しの開発などを行います。歴史的な背景を学びながら、武将気分を味わえるプログラムです。

【開催候補地】
休暇村など
【協力団体イメージ】
地元料理人、信長の館学芸員

安土研究員養成講座
9

各分野の学識研究者による、「安土城址の魅力を語る」講座です。ブラタモリのようにまちを練り歩き、専門の調査に市民も参加して掘り下げることができます。

【開催候補地】
安土城下町、安土城址
【協力団体イメージ】
安土探検隊
安土の語り部

手作り甲冑体験

手作り甲冑の試着、記念撮影、和装の着付けなどが体験できます。時代劇に登場する人たちになりきって、まちを練り歩くことができます。甲冑の展示会の同時開催なども考えられます。

【開催候補地】
安土コミセン、楽市楽座館
西の湖すてーしょん（展示場）
【協力団体イメージ】
安土学区まちづくり協議会

安土の神社マルシェ

沙沙貴神社では沙沙貴壮遊（もりあそび）というマルシェイベントが開催されています。安土の神社境内や公園、駐車場などの各地で同時開催されるマルシェを楽しめます。

【開催候補地】
市内の寺社仏閣・公園など
【協力団体イメージ】
市内の店舗

観音寺城址発見探索
繖山に残る野面積みの遺跡を堪能！ 41

観音寺城址の野面石積みの遺跡を堪能する石垣探訪ツアーになります。城の構造や工夫の解説付きで、戦国期近江の歴史と、近江六角氏の足跡を辿ることができます。石垣の掃除や山道の整備（間伐・雑草など）を行い、山づくりを楽しむことができます。

【開催候補地】
観音寺城址、観音正寺
【協力団体イメージ】
安土城考古博物館
観音正寺

安土寺子屋教室
7

神社仏閣を活用した寺子屋・社子屋学習プログラムです。法話・説法会、座禅・写経など本格的な修行体験による日本の伝統文化の継承にもつながります。

【開催候補地】
市内の寺社仏閣
【協力団体イメージ】
観音正寺、沙沙貴神社など

戦国VRハッカソン

ご当地Vtuberによるオンラインツアーやバーチャル技術を用いたハッカソン（開発合宿）のプログラムです。地域課題解決をテーマに、新しい技術を用いて解決を図ります。

【開催候補地】
楽市楽座館（拠点施設）
【協力団体イメージ】
地域おこし協力隊
若手クリエイター

東家住宅ゲストハウス

主屋部分をコミュニティスペースもカフェ（ギャラリーも）に、奥の間をゲストハウスに活用できます。2階には観光まちづくり会社の事務所を設置するなどが考えられます。

【開催候補地】
東家住宅
【協力団体イメージ】
観光まちづくり会社

安土の水と暮らし

ヨシ舟まつり・常浜自由研究

ヨシ舟をつくる一年間のワークショップを開催し、ヨシの一年間のサイクル（「刈る→干す→つくる→使う」）を体験できます。合宿形式で、ヨシの活用方法を学び、夜はバーベキュー、キャンプファイヤーが楽しめます。

【開催候補地】
常浜水辺公園
【協力団体イメージ】
ヨシ業者さん

安土水めぐり

まちなかにある湧水をめぐり、水と暮らしの関係とその歴史を聞くまちあるき体験です。セミナリオから外堀の舟運の歴史やふるさとの語り部によるまちあるきなどのイベントが考えられます。

【開催候補地】
市内の湧水、湖川
【協力団体イメージ】
安土町商工会、
市民ボランティア

農作業体験
48

安土・老蘇の農家にファームステイ（農泊）を行うことができます。応用編として達人に学ぶオーガニック農業講座を開催。ビール用大麦麦刈り体験、泥や竹林を活用した自然肥料づくり、市民農園講座などのイベントが開催されます。

【開催候補地】
安土・老蘇の農地
【協力団体イメージ】
老蘇集落、農業大学校
安土有機農家

古民家の暮らし体験

空き町家活用社会実験
54

古民家DIY再生や公募型チャレンジショップを実施し空き町家を再生します。ワークシェアや職場体験といった活用が考えられます。

【開催候補地】
市内の空き家
【協力団体イメージ】
不動産・建築
安土城商工会
おやじ連

旧伊庭家住宅カフェ・バー・ラウンジ
16

落ち着いた演奏（ピアノもしくは弦楽器）のなかで、お茶・お酒や会話を楽しめます。アート作品の展示や、プライベートコンサートやレッスン、記念日のお祝いなどに活用できます。

【開催候補地】
旧伊庭家住宅
【協力団体イメージ】
オレガノ、安土町商工会
安土町文芸の郷振興事業団
あづちサマーフェスティバル
実行委員会

旧伊庭家体験
15

ヴォーリズ建築体験・宿泊できるプログラムです。コワーキングスペース、サテライトオフィスを併設し、企業等に一定期間で一棟を貸し出せば研修や合宿にも利用できます。

【開催候補地】
旧伊庭家住宅
【協力団体イメージ】
オレガノ、安土町商工会
あづちサマーフェスティバル
実行委員会

庭園鑑賞・茶道体験教室
50

庭園鑑賞、杉原家住宅の歴史学習を行う茶会を開催するプログラムです。

【開催候補地】
杉原家住宅など
【協力団体イメージ】
市内のお茶の先生
安土中学校

常楽寺コミュニティカフェ
18

楽市楽座館の新たな活用方策です。「ふのやき」や湧水を使ったお茶、信長の茶菓子などが提供されます。

【開催候補地】
楽市楽座館
【協力団体イメージ】
安土町文芸の郷振興事業団
安土町商工会
有識者

養蜂体験
46

ハチの生態学習や、環境循環農業（れんげ米の開発）の体験学習です。養蜂・採蜜から食育まで一貫した流れを体験できるプログラムが考えられます。

【開催候補地】
老蘇学区まちづくり協議会
安土養蜂園
【協力団体イメージ】
安土養蜂園
老蘇コミセン

安土木工大工体験
17

安土城を住された岡部又右衛門の功績や大工の技術を学ぶことができます。建築模型や木のおもちゃをつくるワークショップ、マルシェで使う屋台やキャンプ道具をつくる会の開催が考えられます。

【開催候補地】
匠の里、工務店
【協力団体イメージ】
安土城郭資料館
地元工務店

小学校の活用

小学校跡地活用コミュニティ複合施設

小学校の面影を残しながら、コミュニティを生み出す複合体験型施設へとリノベーションします。校舎は事務所、文化・歴史体験、保育施設として活用し、体育館はフードホールとして活用します。グラウンドはイベントも開催できる広場やオーガニックガーデンとして利用します。

【開催候補地】
安土小学校跡地
【協力団体イメージ】
あづちサマーフェスティバル、
商工会、飲食事業者など

小学校跡地活用体験型宿泊施設

小学校の面影を残し、農業体験や歴史・文化体験をテーマに、修学旅行の受入を行うグリーン・ツーリズム拠点施設へとリノベーションします。校舎は宿泊施設、ワーケーション施設として活用し、体育館は地域の手作り料理を味わえるレストランとして活用します。

【開催候補地】
安土小学校跡地
【協力団体イメージ】
あづちサマーフェスティバル、
商工会、宿泊事業者など

安土の仕事体験

畜産インターンシップ
52

循環型畜産の体験学習が開催され、地域イベントと連携して耕畜連携事業の拡充を図ります（企業連携で完全循環農業によるブランド化）。

【開催候補地】
市内畜産場、農家
【協力団体イメージ】
株式会社千成亭ファーム
周辺農家

ふるさと社会見学・職場体験
56

市内学校と連携して、安土で働く店舗の職場体験を行います。現在行われている学校での職場体験を拡充し、子どもたちが興味のある職業を体験できる環境を整えます。

【開催候補地】
市内店舗
【協力団体イメージ】
地元の学校、店舗・工務店

空き地・庭の活用
53

空き地や空き家の庭の草木を管理する代わりに、空き地を活用することができます。たとえば、オープンガーデンなどを行いガーデニング教室を開催することができます。

【開催候補地】
東家、杉原庭園など
【協力団体イメージ】
おやじ連

森と暮らしの地域塾

地域へのインターンシップ事業や調査・学習を行う拠点として、文芸の郷の新たな活用を行います。1年間に複数回の講座を開講し、森との関わりの中で暮らすスキルを身につける講座や、発掘調査やまちあるきなどの歴史講座、地域行事への参加など、地域の担い手を育成します。

【開催候補地】
安土文芸の郷
【協力団体イメージ】
文芸の郷振興事業団、各専門家
豊かな社づくり隊など

スローな回遊まち歩きツアー

小型エコ・モビリティ

安土を訪れる観光客向けに、タブレットを搭載した超小型モビリティを貸し出しするサービスです。専用の観光アプリが搭載され、観光地を巡るカーナビ機能や、観光地に近づくと自動でスポットの案内が始まります。

【開催候補地】
安土城跡・城下町・文芸の郷など
【協力団体イメージ】
安土観光ボランティア協会
文芸の郷、IT企業

軽トラ直売所・朝市
51

家庭菜園、市民農園の余った野菜が市内で直売されます。移動販売やキッチンカーイベントが行われます。

【開催候補地】
市役所駐車場、公園など
【協力団体イメージ】
農業従事者
滋賀県立農業大学校

安土PR映画祭時代劇撮影ツアー
8

地元住民・観光客でつくるPR映画祭、自分だけの映画ができる観光ツアー（時代劇撮影ツアー）が楽しめます。観光客がエキストラになり戦国時代の風景を再現するなどのイベントが考えられます。

【開催候補地】
B&G海洋センター周辺
旧伊庭家住宅（制作拠点）
【協力団体イメージ】
若手デザイナー・映画制作家
制作会社・プロ

安土ロゲイニング
12

地図に記載されたチェックポイントの通過ポイントを競う大会です。上位三位を表彰し、限定商品贈呈します。初心者も楽しめる3時間コースや、歴史好きのための5時間コースも用意されます。

【開催候補地】
安土コミセン、
楽市楽座館（受付）
【協力団体イメージ】
近江八幡観光物産協会
滋賀県オリエンテーリング協会

安土古写真デジタルギャラリー＆スタンプラリー
57

安土古写真を閲覧できるデジタルギャラリーと現地を巡って時代の変化を楽しむスタンプラリーを開催できます。

【開催候補地】
安土コミセン、楽市楽座館
【協力団体イメージ】
安土町商工会
近江八幡観光物産協会

安土未来づくりビジョン 学びのにわ 構想 (案)
発行日　2024 年 10 月
発行　京都大学大学院工学研究科　社会基盤工学専攻 景観設計学分野
京都府京都市西京区京都大学桂 C1
執筆　谷川陸、山口敬太
執筆協力　オーガイアミシェル琳、Song Wentao、岡本大地、朱尽染
潰瀧佑哉、Wang Jiayi、上坂耕平